

「脱ムダ」で市政を変える

新たな挑戦

わたなべだいぞう

渡辺大三

NEWS
2013年3月号

小金井市議会議員

「情報公開がねい」共同代表

市民の皆さん、こんにちは。

「渡辺大三NEWS」3月号
をお届けします。
ご一読いただければ幸いです。

「脱ムダ」を掲げて、
市役所のムダ遣いを無くして
まいります。

Twitter
watanabedai zou



多過ぎる!市役所の役職者

多摩地区で 人口11万人の市	部長	課長	係長
小金井市	17人	62人	137人
国分寺市	11人	53人	125人
昭島市	14人	53人	127人
東久留米市	11人	35人	99人

*課長補佐は課長または係長に振り分けてカウント。

昨年11月、私の指摘で、小金井市役所の役職者(部長~係長)の人数が、多摩地域の同一人口市に比べて異常に多い事実が明らかになりました。表を御覧ください。部長級、課長級、係長級、いずれの区分でも、同一人口市(国分寺市、昭島市、東久留米市)に比べて、人数が異常に多いことが分かります。稲葉市長は、就任時に13人だった部長級を17人にまで増やしました。役職者の人数が他市に比べて多い分の人件費は、年間で3~4億円になると試算されます。市民の皆様から「ムダ遣い」との批判が殺到している賃借庁舎の年間賃料でさえ年約2億2600万円ですから、いかに大きなムダかお分かりいただけると思います。私は、引き続き、削減に向けた追及を続けていく予定です。

年3~4億円のムダ
削減が急務

高額手当の削減を実現

(住居手当・地域手当) 長年の追及が実を結びました

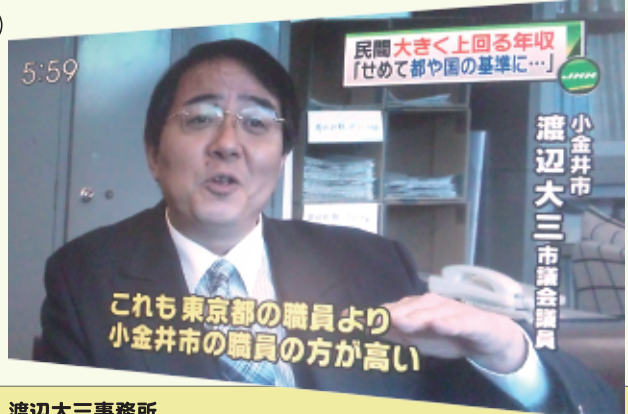
私は、小金井市職員の高額手当を追及し、その削減を長年求め続けてきました。議会で追及を続けていたのは私一人だけでしたが、ここで相次いで高額手当(地域手当・住居手当)を削減させ、来年度分だけで約1億円の財源を創出できることになりましたので、以下ご報告申し上げます。なお、この原稿は2月23日に執筆しておりますが、来年度からは3000万円を超えるような高額退職金も削減の運びになると思いますので、改めてご報告申し上げます。

◎地域手当削減で年6163万円の節約を実現

小金井市職員には「地域手当」が支給されています。国が定めた小金井市の支給率は10%ですが、小金井市は12%での支給を続けてきました。このため、国は毎年、小金井市に「罰金」を課してきました。市民目線で見れば「二重の損害」です。

私の追及で、来年度から支給率が10%に引き下げられることになりました。この改革で生み出される財源は年約6163万円です。また、「罰金」を課されることも無くなります。(裏面へ)

1月28日、TBSの夕方のニュース「Nスタ」で地方公務員の高額な給料や手当の問題が特集されました。全国で唯一、小金井市の事例が悪い例として紹介されました。取材依頼があつたので、小金井市職員の手当が東京都職員より高い点についてコメントしました。



編集発行

情報公開がねい 渡辺大三事務所

中央線北部事務所 〒184-0003 小金井市緑町3-10-31

中央線南部連絡所 〒184-0012 小金井市中町3-22-30-304

電話 090(3345)6929 / FAX 042(381)5074

youhou.kougai.koganei@gmail.com 【ご意見・ご要望はお気軽にお寄せください】